



学年集会…今から意識してほしいこと

自分に関わる進路日程

学 期	月	進 路 関 係 行 事 ・ 手 続 き	進 路 の 取 り 組 み
2 学期	8	保体・技家定期テスト(24 日)	各種学校説明会、体験入学
	9	学力テストA(10 日)	○第3回進路希望調査(11 日) 各種学校説明会、体験入学 各私立高校の募集要項公開 * 通信制高校出願開始
	10	進路説明会(1 日) 学力テストB(7 日) 学年懇談会(8 日)	【学活】進路の学習③～上級学校理解(9 日) ○第4回進路希望調査(9 日) ●進路写真撮影(27 日)…※販売方法
	11	2学期末テスト(9 日) 学力テストC (11 日) 教育相談(進路相談)…(20・24～27 日)	【学活】3年間の足跡(私の履歴書)(10 日) ○第5回進路希望調査(最終)(11 日) 【学活】公立高校 Web 出願の方法(30 日)
	12	期末懇談(三者懇談)= 進路の確認 …(10～11 日・14～16 日) 3年保体・技家テスト(17 日) 公立高校 Web 出願準備	* 進路事務手続き依頼書提出／学校長推薦依頼書 * 自己推薦意思確認書・出願手続依頼書 * 学校長推薦希望者校長面接 【学活】今後の進路日程 (7 日) 【学活】面接について(21 日) ○私立単願・公立推薦希望者 面接練習
3 学期	1	私立推薦単願専願・高専推薦出願開始 学年末テスト(18 日) * 私立推薦・単願・専願受験開始 * 国立高専推薦受検	* 事前登校日…公立願書・私立願書回収・出願確認 * 公立願書出願 * 出願変更手続き * 公立推薦受験票配付 ○公立推薦希望者 面接練習
	2	* 公立高校推薦入試(9 日) * 私立高校一般入試(A16 日・B19 日) * 私立高校・各種学校合格発表 * 公立推薦合格内定通知 * 入学確約書提出 * 再出願手続き	○私立入試に向けて・面接練習 * 推薦受検意思確認書 * 私立一般願書出願 【集会】私立入試前集会(15 日) * 公立一般受験票配付
	3	* 公立高校入試(3 日) * 公立高校合格発表(16 日) * 公立高校追加合格 * 公立高校2次募集	【集会】公立入試前集会(2 日) ○公立入試に向けて 【学活】入試を終えて

『やる時はやる』『その時頑張る』は通用しない

*見られているのは…『本当のあなたの姿』

- ・普段の生活や授業の様子はどうか…長く染みついた「姿勢の習慣」は必ず現れます
- ・多くの受験生に対して面接をしてきた面接官は、数分も話せば、あなたの本当の姿を見抜きます
- ・日ごろから生活マナーや授業態度などを身につけ、ありのままの姿でアピールできるようにしよう
- ・日常のテストも入試と同じ気持ち、同じ状態で受けるようにしよう
- ・試験監督の先生の指示をしっかりと顔を向けて聞き、その指示に従って行動すること
- ・普段から、字は丁寧に書くよう心がける…読む人に正しく読めなければ意味がありません

*自己推薦を希望するなら…

- ・スクールポリシーは暗記するものではない！…スクールポリシーは身につけるもの！
- ・最低でも…スクールポリシーに求められている中学校生活でなければ通用しない

受験する学校を見きわめる

- ① 高校の様子…校風、授業内容、部活動、生徒の様子など事前に調べましょう(調査レポート)
- ② 高校卒業後の進路…進学先や就職先も高校選択の観点のひとつ
- ③ 高校の学科や特徴…特に商業・工業などの専門学科や総合学科は本当に興味・関心を持ちながら3年間学んでいけるのかも重要な観点です
- ④ 通学条件を考える…通学時間、交通機関などにより生活のリズムも今とは大きく変わる(特に冬の通学など)3年間毎日通学できるかをしっかり考える
- ⑤ 主な費用(近年の例です。行政の決定による変更なども考えられます)

	受検料	入学金 (納入金合計)	授業料/月
公立全日制	2,200 円	5, 650 円 (約 5 ～ 6 万円)	9,900 円
公立定時制	950 円	2,100 円	2,700 円
公立通信制		受講料 1 単位 340 円	単位制 1 単位 1,750 円
私立全日制	15, 000 円～ 16,000 円	14 万円～3 3 万円 納付金含む	3 万～5 万 6 千円 納付金含む
私立通信制	10,000 円	15 万～5 6 万円 納付金含む	1 万～2 万 5 千円 納付金含む

※上記以外に教科書副教材3～5万円、制服ジャージ上靴約10万円等

※「高等学校等就学支援金制度(高校無償化)」…国の基準により授業料の一部または全額が国から支給される制度です。公立高校(全日制)は実質 0 円となり、私立高校(全日制)についても所得制限なく年額 45 万 7,200 円が支給され、実質無償化が実現しています。

※支給額(全日制・定時制の場合) 公立高校:年額 118,800 円(所得制限なし)
私立高校:年額 457,200 円(所得制限なし)

*国の支援金は、各家庭が申請し、学校が生徒に代わって受け取り、授業料と相殺する仕組みです

※注意点…①対象は授業料のみ／入学金、制服代、教材費、修学旅行費、施設整備費などは自己負担となります。
②申請が必要／入学時や毎年 7 月頃に行われる在学確認の申請手続きが必要です。
③自治体独自の支援:
／住んでいる都道府県や市区町村によっては、国の無償化に加えて「授業料以外の費用(教材費など)」への補助や上乗せ支給が行われている場合があります。北海道や札幌市にお住まいの場合、国の制度に加えて独自の軽減制度が利用できる可能性があります。

⑥ 出願から入試日までの日程

- ・受験する学校、受検形態などによって日程が異なります
- ・出願方法…紙願書の形・Web 出願の形が、学校によって違います

⑦ 合格の可能性…入試に絶対はありません。たとえ模擬試験などのデータから合格確率が高いものになっていたとしてもです。

- ・単に合否だけではなく、入学後にその高校の学習内容や授業についていけるかということも受験校決定の大切な要素になります。
- ・塾のデータ・道コンデータ・受験情報誌などのデータは…あくまでも昨年度の場合&最大限の可能性
- ・受検校の最終決定は、2学期時点の学習点(12 月懇談)で判断していくことになります…冬休み中に出願

おわりに

3年生全員が それぞれ違う目標に向かって それぞれの努力をしていきます だから…大切なのは『自分のペース』や『自分の都合』だけでなく 学年全員のために 全体の環境を整えていくこと です それぞれの「進路」に向かう姿勢 を尊重しましょう。